

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【公開番号】特開2009-64475(P2009-64475A)

【公開日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-012

【出願番号】特願2008-329730(P2008-329730)

【国際特許分類】

G 06 Q 40/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/60 2 3 4 K

G 06 F 17/60 2 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月23日(2011.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

顧客が保有可能な資産を分類した複数の資産カテゴリごとに、クラス判定の基準となる評価基準カテゴリに属する資産の合計金額に応じて分類されるクラスと、当該クラスに対応する資産管理の優遇条件を表すクラス優遇値とを関連付けたクラス優遇情報を設定するクラス条件設定部と；

顧客が実際に保有する資産を表す顧客資産情報と、前記資産を所定の基準通貨に換算するための基準レート情報を記憶する記憶部と；

前記顧客資産情報に基づいて、前記顧客が実際に保有する資産のうち前記評価基準カテゴリに属する資産を抽出し、さらに、前記評価基準カテゴリに属する資産のうちの前記基準通貨でない資産を、前記基準レート情報を用いて前記基準通貨に換算し、当該基準通貨に換算された資産と、前記評価基準カテゴリに属する資産のうちの前記基準通貨である資産とを合計することで、前記評価基準カテゴリに属する資産の合計金額を計算する合計金額計算部と；

前記クラス優遇情報を基づいて、前記複数の資産カテゴリのうちクラス判定の評価対象となる評価対象カテゴリごとに、前記評価基準カテゴリに属する資産の合計金額に応じた前記顧客のクラスを判定するクラス判定部と；

前記クラス判定部により判定された前記顧客のクラスに対応する前記クラス優遇値を用いて、前記評価対象カテゴリごとに、前記顧客の資産に関する情報を計算し、当該計算結果を用いて前記顧客資産情報を更新する資産管理部と；

を備える、情報処理装置。

【請求項2】

所定の期間と、前記所定の期間における資産管理の優遇条件を表す期間優遇値とを関連付けた期間優遇情報を設定する期間条件設定部をさらに備え、

前記資産管理部は、

前記所定の期間では、前記クラス優遇値と前記期間優遇値とを比較して、前記クラス優遇値又は前記期間優遇値のうち優遇条件が大きい方の優遇値を選択し、当該選択した優遇値を用いて前記顧客の資産に関する情報を計算する、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記記憶部は、前記クラス判定部により前記資産カテゴリごとに判定された前記顧客のクラスと、当該顧客のクラスに対応する前記クラス優遇値と、当該クラス優遇値の適用期間とを関連付けたクラス判定結果情報を記憶し、

前記情報処理装置は、

前記情報処理装置にネットワークを介してアクセスした顧客端末の表示画面に、前記記憶部に記憶されている前記クラス判定結果情報のうち少なくとも一部を表示させる表示制御部をさらに備える、請求項1又は2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記表示制御部は、前記クラス判定結果情報のうち、前記顧客端末のアクセス時を基準として現在の前記顧客のクラス及び前記クラス優遇値と、過去の前記顧客のクラス及び前記クラス優遇値とを対照可能に表示させる、請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記表示制御部は、前記クラス判定結果情報のうち、前記顧客端末のアクセス時を基準として現在及び未来のクラス判定結果情報を表示させ、

前記未来のクラス判定結果情報は、前記現在のクラス判定結果情報よりも少ない情報量で表示される、請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記表示制御部は、前記顧客端末の前記表示画面に前記クラス判定結果情報を相異なる情報量で表示させる第1の表示制御部と第2の表示制御部とを含み、

前記第2の表示制御部は、前記第1の表示制御部により前記顧客端末の前記表示画面に一画面で表示される前記クラス判定結果情報の情報量よりも少ない情報量となるよう、前記クラス判定結果情報の一部を抽出又は加工して前記顧客端末の前記表示画面に表示させる、請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記合計金額計算部による前記合計金額の計算処理及び前記クラス判定部による前記顧客のクラスの判定処理を、定期的に実行し、当該各判定処理により判定された前記顧客のクラスに対応する前記クラス優遇値を、当該各判定処理時以後の所定の期間に適用する、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項8】

前記合計金額計算部による前記合計金額の計算処理及び前記クラス判定部による前記顧客のクラスの判定処理を、前記情報処理装置にネットワークを介して接続された顧客端末による資産取引に応じて随時実行し、当該各判定処理により判定された前記顧客のクラスに対応する前記クラス優遇値を、当該資産取引後に即時適用する、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項9】

前記記憶部は、前記顧客の取引状態を表すフラグを含む顧客情報を記憶し、

前記クラス判定部は、前記合計金額計算部により計算された前記合計金額に応じて前記顧客のクラスを判定し、さらに、当該判定した顧客のクラスを、前記顧客情報のフラグに応じてランクアップ/ランクダウンさせることで、前記顧客のクラスを決定する、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項10】

前記顧客の取引状態に応じて、前記顧客情報のフラグを時限的に設定する顧客情報設定部をさらに備える、請求項9に記載の情報処理装置。

【請求項11】

前記記憶部は、前記クラス優遇情報とは相異なる優遇条件を表す他のクラス優遇情報を保持しており、

前記資産管理部は、前記クラス優遇情報または前記他のクラス優遇情報の中から選択された1つのクラス優遇情報のクラス優遇値を用いて前記顧客の資産に関する情報を計算する、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項12】

前記クラス判定部による判定から所定期間内に、前記クラス優遇情報または前記他のクラス優遇情報の選択が行われなかった場合には、前記資産管理部は、前記クラス優遇情報のクラス優遇値を用いて前記顧客の資産に関する情報を計算する、請求項11に記載の情報処理装置。

【請求項13】

情報処理装置による資産管理方法であって：

前記情報処理装置が、顧客が保有可能な資産を分類した複数の資産カテゴリごとに、クラス判定の基準となる評価基準カテゴリに属する資産の合計金額に応じて分類されるクラスと、当該クラスに対応する資産管理の優遇条件を表すクラス優遇値とを関連付けたクラス優遇情報を設定するクラス条件設定ステップと；

前記情報処理装置が、顧客が実際に保有する資産を表す顧客資産情報に基づいて、前記顧客が実際に保有する資産のうち前記評価基準カテゴリに属する資産を抽出し、さらに、前記評価基準カテゴリに属する資産のうちの前記基準通貨でない資産を、前記資産を所定の基準通貨に換算するための基準レート情報を用いて前記基準通貨に換算し、当該基準通貨に換算された資産と、前記評価基準カテゴリに属する資産のうちの前記基準通貨である資産とを合計することで、前記評価基準カテゴリに属する資産の合計金額を計算する合計金額計算ステップと；

前記情報処理装置が、前記クラス優遇情報に基づいて、前記複数の資産カテゴリのうちクラス判定の評価対象となる評価対象カテゴリごとに、前記評価基準カテゴリに属する資産の合計金額に応じた前記顧客のクラスを判定するクラス判定ステップと；

前記情報処理装置が、前記クラス判定ステップにより判定された前記顧客のクラスに対応する前記クラス優遇値を用いて、前記評価対象カテゴリごとに、前記顧客の資産に関する情報を計算し、当該計算結果を用いて前記顧客資産情報を更新する資産管理ステップと；

を含む、資産管理方法。

【請求項14】

コンピュータに、

顧客が保有可能な資産を分類した複数の資産カテゴリごとに、クラス判定の基準となる評価基準カテゴリに属する資産の合計金額に応じて分類されるクラスと、当該クラスに対応する資産管理の優遇条件を表すクラス優遇値とを関連付けたクラス優遇情報を設定するクラス条件設定ステップと；

顧客が実際に保有する資産を表す顧客資産情報に基づいて、前記顧客が実際に保有する資産のうち前記評価基準カテゴリに属する資産を抽出し、さらに、前記評価基準カテゴリに属する資産のうちの前記基準通貨でない資産を、前記資産を所定の基準通貨に換算するための基準レート情報を用いて前記基準通貨に換算し、当該基準通貨に換算された資産と、前記評価基準カテゴリに属する資産のうちの前記基準通貨である資産とを合計することで、前記評価基準カテゴリに属する資産の合計金額を計算する合計金額計算ステップと；

前記クラス優遇情報に基づいて、前記複数の資産カテゴリのうちクラス判定の評価対象となる評価対象カテゴリごとに、前記評価基準カテゴリに属する資産の合計金額に応じた前記顧客のクラスを判定するクラス判定ステップと；

前記クラス判定ステップにより判定された前記顧客のクラスに対応する前記クラス優遇値を用いて、前記評価対象カテゴリごとに、前記顧客の資産に関する情報を計算し、当該計算結果を用いて前記顧客資産情報を更新する資産管理ステップと；
を実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、上記課題を解決するために、本発明の別の観点によれば、情報処理装置における資産管理方法であって：顧客が保有可能な資産を分類した1又は2以上の資産カテゴリごとに、資産の合計金額に応じて分類されるクラスと、当該クラスに対応する資産管理の優遇条件を表すクラス優遇値とを関連付けたクラス優遇情報を設定するクラス条件設定ステップと；前記情報処理装置が、顧客が実際に保有する資産を表す顧客資産情報に基づいて、前記顧客が実際に保有する資産のうち前記評価基準カテゴリに属する資産を抽出し、さらに、前記評価基準カテゴリに属する資産のうちの前記基準通貨でない資産を、前記資産を所定の基準通貨に換算するための基準レート情報を用いて前記基準通貨に換算し、当該基準通貨に換算された資産と、前記評価基準カテゴリに属する資産のうちの前記基準通貨である資産とを合計することで、前記評価基準カテゴリに属する資産の合計金額を計算する合計金額計算ステップと；前記情報処理装置が、前記クラス優遇情報に基づいて、前記複数の資産カテゴリのうちクラス判定の評価対象となる評価対象カテゴリごとに、前記評価基準カテゴリに属する資産の合計金額に応じた前記顧客のクラスを判定するクラス判定ステップと；前記情報処理装置が、前記クラス判定ステップにより判定された前記顧客のクラスに対応する前記クラス優遇値を用いて、前記評価対象カテゴリごとに、前記顧客の資産に関する情報を計算し、当該計算結果を用いて前記顧客資産情報を更新する資産管理ステップと；を含む、資産管理方法が提供される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

また、上記課題を解決するために、本発明の別の観点によれば、コンピュータに、顧客が保有可能な資産を分類した1又は2以上の資産カテゴリごとに、資産の合計金額に応じて分類されるクラスと、当該クラスに対応する資産管理の優遇条件を表すクラス優遇値とを関連付けたクラス優遇情報を設定するクラス条件設定ステップと；顧客が実際に保有する資産を表す顧客資産情報に基づいて、前記顧客が実際に保有する資産のうち前記評価基準カテゴリに属する資産を抽出し、さらに、前記評価基準カテゴリに属する資産のうちの前記基準通貨でない資産を、前記資産を所定の基準通貨に換算するための基準レート情報を用いて前記基準通貨に換算し、当該基準通貨に換算された資産と、前記評価基準カテゴリに属する資産のうちの前記基準通貨である資産とを合計することで、前記評価基準カテゴリに属する資産の合計金額を計算する合計金額計算ステップと；前記クラス優遇情報に基づいて、前記複数の資産カテゴリのうちクラス判定の評価対象となる評価対象カテゴリごとに、前記評価基準カテゴリに属する資産の合計金額に応じた前記顧客のクラスを判定するクラス判定ステップと；前記クラス判定ステップにより判定された前記顧客のクラスに対応する前記クラス優遇値を用いて、前記評価対象カテゴリごとに、前記顧客の資産に関する情報を計算し、当該計算結果を用いて前記顧客資産情報を更新する資産管理ステップと；を実行させるためのプログラムが提供される。